

『法王庁の抜け穴』 主要登場人物

**アンティムアルマン・デュボワ**……フリーメイソン会員で、生理学者。科学至上主義の無神論者。リウマチ性疾患の治療のためにローマに引越す。ジュリアスの義兄。  
**ヴェロニク・アルマン・デュボワ**……アンティムの妻。マルグリット・バラリウルの実姉。夫とローマに長逗留する。信心深い。  
**ジュリアス・バラリウル**……アンティムの義弟。凡庸な道徳と穏健な思想の持ち主。作家で、名譽あるアカデミー・フランセーズ会員に選ばれることを望んでいる。  
**マルグリット・バラリウル**……ジュリアスの妻。ヴェロニク・アルマン・デュボワの実妹。保守的なカトリック信徒。  
**ジュヌヴィエーヴ・バラリウル**……ジュリアスとマルグリットの長女。  
**ジュスト・アジェノール・バラリウル伯爵**……ジュリアスの父。各国の公使を歴任した元外交官。パリの豪華な住まいに隠居している。

DIC F199

K100



法王庁の抜け穴  
59.5mm×135mm

しおり（表面）

**ラフカディオ・ルーキ**……十九歳の青年。ローマで生まれ、父親を知らずに育った。多くの言語を自由にあやつる。パリのカローラのもとに身を寄せている。  
**カローラ・ヴェニテカ**……ラフカディオの情婦。  
**プロトス**……ラフカディオの旧友。詐欺団の《百足組》の首領。変装を得意とする。  
**ヴァランティーン・ド・サンプリ伯爵夫人**……ジュリアス・バラリウルの姉。南フランスのポー郊外の城館に、夫の死後も暮らす。保守的なカトリック信徒。  
**アメデ・フルリツソワール**……ジュリアスの義弟。純朴なカトリック信者。南フランスのポーで暮らす。法王幽閉の話聞いてローマに救出に向かう。  
**アルニカ・フルリツソワール**……アメデの妻。ヴェロニクとマルグリットの実妹。  
**ガストン・アラファアス**……アメデ・フルリツソワールの親友。「造形用ローマ厚紙」を発明し、ブラファアス・フルリツソワール・レヴィション商会を設立する。

DIC F199

K100



法王庁の抜け穴  
59.5mm×135mm

しおり（裏面）